

# かかりつけ薬局の 知っ得情報

15



## 『シップ薬』

シップ薬は多くの方が一度は使ったことのある身近な薬の一つだと思いきや、病院でも処方されず、ドラッグストアの売り場には様々な商品があり、どの薬を選べば良いかわからないでしょうか。

私もしばしば相談を受

けますが、その中の一つとして冷シップと温シップの違いを聞かれる事があります。一般的には捻挫・打撲・筋肉痛など急性症状には熱をとる効果のある冷シップ、肩凝り・腰痛など慢性的な痛みには温めて凝りをほぐす効果のある温シップが良いとされていますが、実際は同じ成分なら効果は変わりませんので、冷やすか温めるどちらが気持ちよく感じるかで選んでいただいても問題ありません。

必ず医師・薬剤師に伝えるようにしてください。

身近なシップですが、注意しなくてはならないことでもあります。何例か挙げさせていただきますと、貼っている場所を日光や紫外線に当ててしまうと皮膚炎を引き起こしてしまったり、露出している患部に使う場合や薄着になる季節は特に気を付ける必要があります。

また、もしかすると自分に良く効いたシップ薬を他の人にあげたことがある方もいらっしゃるかもしれませんが、病院の薬は、その時の症状に合わせて処方していますし、市販薬でも思わぬ副作用が現れることがあるので気を付けなくてはなりません。

最近の処方せん薬では従来の貼り薬より吸収が良く、効き目も高いとされています。成分のものも打撲・筋肉痛と同じように血液中に移行してしまいうため、飲み薬と併用する場合は注意が必要です。

なにか気になることがありましたら、ぜひ薬局やドラッグストアで相談してみてください。新しい発見もあるかもしれませんよ。

担当薬剤師 原 光  
問い合わせ ☎047・

360・3600 一般社団法人 松戸市薬剤師会



調剤・OTC併設

ウエルシア松戸元山薬局  
松戸市五香南1-1-5  
☎047・385・2401

